

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月14日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675300158
法人名	社会福祉法人 希望会
事業所名	グループホーム やすらぎの里
所在地	鹿児島県姶良市下名2992番地 (電話) 0995-65-1641
自己評価作成日	令和2年2月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年2月29日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

◎私達のホームでは、「ご自宅での生活の延長」を念頭において、できる範囲で調理・掃除等の家事や菜園の手入れ等をして頂くなど、ご本人の得意な事や出来る事を活かし引き出す支援をしております。

◎当ホームは自然に囲まれ、中でも自慢は豊富な天然温泉が湧出することで、いつでも温泉浴ができるなど入居者より好評を得ています。また敷地内に足湯を敷設し入居者や利用者のみならず地域の方や来園者も楽しめるようにしています。

◎自施設だけの生活にならぬよう、併設施設の行事等にも参加し、また地域の行事等にも参加し地域とのつながりが切れることがないよう支援しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・社会福祉法人「やすらぎの里」は高齢者福祉施設の1事業所であり、隣接して小規模多機能ホーム、ショートステイ、特別養護老人ホーム等、多様な7つの介護サービス施設を展開し高齢者福祉の拠点となっている。災害対策や法人の行事等、協力関係ができている。
- ・協力医療機関との24時間医療連携体制が整っている。
- ・自治会に加入し地域のコミュニティ協議会や地域の行事に参加している。中学生の体験学習の受け入れやボランティアによる絵手紙教室・草刈・營繕など、地域の協力がある。地域新年会や法人主催の行事、敬老会・夏祭りには地域住民の多くの参加がありふれ合いがある。おはら祭りに継続10年参加している。
- ・外出支援は年間計画を立てて、初詣・花見・そうめん流し等、歩行困難な利用者もリフト車で出かけ、楽しみやメリハリのある暮らしができている。
- ・入浴は豊富な天然温泉で一角には足湯があり住民や来園者に好評である。
- ・利用者の残存機能の保持に努めている。花つくり・野菜の収穫・口腔ケア・洗濯物たたみ・野菜の仕分け・おはら祭り参加等。職員は1日1回は利用者と話をして利用者の思いやできることを把握している。
- ・職員間のコミュニケーションが良く、資格取得や自己研鑽の研修会参加を奨励している。職員は質の高い介護サービスを目標に良好なチームワークを取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人全体の理念を日々の業務において形にできるよう法人全体の職員会議や毎週の長怜のなかで理念を唱和する機会がある。	法人の理念とホームの理念があり毎朝礼で唱和している。パンフレットに掲載し、事務所・玄関に掲示しネームの裏にも記載し意識づけしている。毎年、理念の勉強会を行い話し合っている。職員会議や勉強会で振り返り支援を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らしつけられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	周辺地域の行事や他の併設事業所が行う行事等に参加することで関係性が維持できるよう取り組んでいる。	自治会に加入し地域のかかし祭りやイベントに参加している。コミュニティ協議会との交流やサロン活動等で自治会との関わりをしている。ボランティアによる絵手紙教室や中学生の体験学習の受入れもしている。法人主催の敬老会や夏まつりには地域からの参加も多い。認知症や高齢者福祉の相談にも対応し地域住民と日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方々の抱えている悩みや相談等が気軽に話せる場として、いつでも来所できるように入口をオープンしている。また、グループホームの入居者との触れ合いの中で、入居者の不安やプライバシーに十分配慮しながら認知症の方を理解していただくという機会を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回地域の代表（自治会長他）、民生委員の方々、地域包括支援センターへ呼びかけ運営推進会議を開催し、事業所の運営状況および地域の課題に対して協議している。	会議は定期的に開催している。入居者の現状報告・地域の情報・ヒヤリハット・外部評価結果報告等を行い、意見交換している。オレンジカフェや地域の高齢者の情報等を話し合い、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃より市町村担当者とは連携を取っており運営上の疑問・問題点などが発生した場合は速やかに連絡し、運営推進会議等で地域包括職員に相談・指導を受けるようにしている。	市担当者とは、書類更新や困難事例などで相談や助言を貰っている。保護課とも密に連携をとっている。地域ネットワーク会議やグループホーム連絡協議会にも参加して、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人全体で身体拘束廃止委員会を設置している。毎月定期的に介護を開催し、また法人全体で研修会を行うなど、身体拘束廃止に向けて周知を図っている。	法人の身体拘束廃止委員会に毎月参加している。事業所でも毎月、職員会議で具体的な事例を挙げて勉強会を行っている。言葉の拘束にも対応し議事録も作成している。日中は玄関の施錠はしていない。外に出たい時は、職員が同行して気持ちの落ち着くまで寄り添って、身体を拘束しないケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	法人全体で人権擁護委員会を設置し、毎月委員会活動を行っている。虐待防止について各種研修に参加し、研修復命報告等で勉強会を行っている。様々な心身への虐待についての知識や防止について全職員に周知徹底し虐待のないよりよいケアの実践に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度を利用している入居者はいないが、職員研修や福祉関係の資格取得のための学習において理解できている。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結、またその解除においては、重要事項説明書所および利用契約書を用いて十分に説明を行い、理解納得を得たうえで契約を締結している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日頃より入居者やご家と積極的にコミュニケーションを図り、ご意見箱の設置したり、意見を出しやすい雰囲気づくりに努めている。	利用者からは日常のケアの関わりの中で声かけをしたり、表情や仕草で把握している。家族からは、面会の時や通信・絵手紙教室等、機会を捉えて把握している。ケアの事やそうめん流しの家族の協力等、出され意見は職員会議で話し合い運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者はや管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>業務内容の見直しや改善すべき事案については管理者と常にコミュニケーションを取りやすい環境づくりに努めている。</p>	<p>管理者は日頃から職員の意見や提案を言いやすい環境を整えている。ミーティング時にテーマに沿って話し合っている。意見は利用者の症状や気づきノートから話し合い、申し送りノートは1日1ページに改善し、入居者の生活記録等を運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得や自己研鑽の為の各種研修への参加、仕事への意欲や取り組み等を見極め評価し、また職員自身の自己評価申告を実施し、十分な話し合いを行った上で、働きやすい環境・労働意欲や向上心を持てる労働条件の整備を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は事業所内外の研修への参加を積極的に勧めている。職場全体の研修には外部講師を招いて事業所のスタッフも参加している。各個人への資格取得の為の勉強会等も職場全体で取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県や地区のグループホーム協議会の主催する事業所同士の研修に参加し、意見交換を通してお互いの事業所の情報交換を行いサービスの向上に努めている。また法人内の研修に参加し交流を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

## II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談時は事前面談を行い本人の困っていること、不安、要望等をお聞きし、些細な事ががらについても傾聴しご本人の生活状況を把握することによりよい信頼関係づくりに取り組んでいる。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回相談時、家族との漫談を行い、ご家族のこまっていることや不安、要望等をお聞きして家族の状況を把握することによって、よりよい信頼関係を築くよう努めている。		
17	○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、ご本人やご家族の想い、生活状況等を確認し必要に応じた支援を見極め、事業所でのサービス内容を共有し、早急な対応が必要な時相談者には可能な限り柔軟な対応をし、当ホームに空きがない場合は、他の事業所のサービスを紹介する等の対応・対策を行っている。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と一緒に家事を行うようにしている。掃除・料理・買い物・洗濯物たたみ等残存機能を生かしつつ、本人の得意なことを活かせる場面づくりを日常的にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	グループホーム便りや面会時等、ホームでの生活状況を知らせ、日々の暮らしの出来事や気づきの情報共有に努め、日頃から家族とのコミュニケーションを図っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域や馴染みの美容室に訪問してもらったりと馴染みの人々が来やすいようにしている	馴染みの人や場をアセスメント等で捉えている。地域の方や趣味仲間の訪問があり、お茶を出してゆっくりして貰っている。美容室は訪問で馴染みであり、墓参りや買い物は家族が同行している。馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや洗濯物たたみなどの家事活動を通して利用者同士の関係がうまくできるように支援している。利用者のトラブルが起こらないために気分や感情、座席の配置などにも細心の注意を払っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	併設施設に移った利用者のところに入居者とともに面会に行ったり事業所にも遊びに来る等相互間に行き来することでこれまでの関係を継続できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	日々の関わりの中で本人の想いや生活に関する意向等についてコミュニケーションを通して把握できるよう努めている。	日常の関わりの中や介護計画作成の時、担当者会議で家族の意向も捉えて把握している。意志疎通が困難な場合は、声かけの工夫をしたり、表情・仕草等で思いを把握したり、家族と連携をとりながら支援に活かしている。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	利用時にご本人やご家族より聞き取りを十分に行い、本人自身の話や家族、知人等の来訪時にもプライバシーに配慮しながら個別に支援に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	利用者一人一人の生活リズムや心身状態を記録し、本人の全体像の把握に努めている、できる事に着目し、家事や趣味活動等個別に対応している。		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	面会時や担当者会議等の場において本人並びにご家族の双方に必ず生活に対する意向や希望・要望等を確認し、介護サービス計画書に反映させている。	職員が把握した生活記録や本人・家族の意向を把握して担当者会議等で話し合い、主治医の意見を入れて、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月で行っている。状況に変化があった時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	業務日誌や生活記録には職員が支援した内容を記載することはもちろんのことであるが、利用者の日々の生活の様子が確認できるような記録作成に努めている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	ご本人ご家族の希望や状況により病院受診など必要な支援には柔軟に対応している。		
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	近隣住民との交流をはじめ、民生委員や市のボランティアポイント制度を利用しているボランティアと連携をとりながら入居者が楽しめる環境づくりに努めている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	入居前からのかかりつけ医や本人・ご家族の希望する医療機関で定期的な往診を受けている。また薬剤師による服薬指導や助言を得ている。	かかりつけ医は本人や家族の希望を大切にして、在宅の時からの医療機関になっている。受診は内容が良く分かるので、家族が同行している。歯科も家族が同行している。協力医の往診が定期的であり、薬剤師からは服薬指導も受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	連携看護師に入居者各人の症状経過等を報告している。状態悪化時は相談し適切な判断を仰いでいる。各主治医や協力病院による24時間連絡体制ができるよう支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入居者が入院された際、ご家族とも連絡を取りながら症状の把握を行い、主治医にも経過報告しながら三者で連携を図り、少しでも早く退院できるように努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいく</p>	重度化や終末期の在り方については、アンケート、看取り介護並びに終末期医療に関する同意書を作成している。本人・ご家族・主治医を交えて説明や話し合いで、本人にとって一番よい支援方法を選択できるよう主治医に相談しながら取り組んでいる。	重度化や終末期に向けた指針があり入居時に説明し同意書をもらっている。状況の変化に伴って、主治医が中心になり、本人・家族・関係者で話し合いを重ね家族の意向を確認している。特別養護老人ホームや医療機関の選択肢も説明している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急救手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	各入居者の急変や事故発生を想定して連絡体制のマニュアルを作成している。消防署の協力で心肺蘇生術の研修や、看護師によるたん吸引などの勉強会を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力の下、地域住民参加型の夜間総合防災訓練、消防用設備点検、地域住民自主防災組織づくり、話し合いや支援体制づくりに努めている。	法人全体の避難訓練を夜間想定で1回、昼1回、消防署立ち合いのもと年2回実施している。地域の協力がある。消火器の使い方や避難経路・避難場所・法人やグループホームの緊急連絡網の点検・防災設備の点検等をしている。地域自主防災組織があり協力体制が整っている。台風や風水害に備えて各事業所に防災ラジオを設置している。備蓄に水・米・パン・カップラーメン等、用意している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	勉強会やミティング等で職員の意識向上を図り、入居者のプライドやプライバシーを損なわない対応の徹底を図っている。記録等個人情報に関しては、保管場所に注意している。	人権擁護委員会を開催しマニュアルを基に個人情報保護法、人権尊重等を勉強している。利用者が不快に思う言動はしない。スピーチロックはしない。個人情報の書類の保管に気をつけている。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	入居者の希望や好みを把握し一人一人に合わせた声かけ職員側の押し付けにならぬよう複数の選択肢を提案し自己決定できるようにしている。意思表示の困難な方は表情や態度を読み取り表現しやすいように対応している。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	一人一人の体調に配慮しながら入居者のペースに沿って柔軟に対応し個別性のある支援を行っている。一人一人のやりたいことを把握し見守ってあげるようにしている。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	起床後の洗面と同時に鏡を見ながら紙の手入れや入浴後の洋服選びなど、利用者の好みを聞いて一緒に行っている。馴染みの美容院を利用し希望のカットにしてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材や新鮮なものを取り入れ、調理の中で味付けや盛り付けなどを利用者の個々の力を活かしながら職員と一緒に考え工夫しながら食事づくりを行っている。	一人ひとりの嗜好を把握しアレルギーには代替え食で対応している。行事食が楽しいものになるように、おせち料理、母の日の刺身・海鮮丼、夏場のそうめん流し等を提供している。食事が美味しく残食なし。職員と一緒に下ごしらえを行い楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人に応じた食事量・水分量・残食量つを把握して不足しないようにし、栄養バランスや見た目を大事にして楽しみをもてるよ食事づくりに努めている。併設施設の管理栄養士による年1回の献立のチェックや栄養についての勉強会等を実施している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に義歯の洗浄や、歯磨きの声かけや誘導を行い、利用者全員の口腔ケアに努めている。自力でできない方には、三間盛や援助により行っている。就寝前にはポリデント消毒を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄のサインを見極め、様子観察しながらさりげなく声かけ・誘導を行っている。夜間の転倒が心配な方や排泄の失敗を気にされる方に対しても、ポータブルトイレを準備している。	排泄チェック表で、個々の排泄パターンや生活習慣を把握して、声をかけてトイレ誘導をしている。羞恥心に配慮しながらさりげなく介助している。排泄用品の選択も、個々に合わせて適切な物を選んで、排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝牛乳を飲用し食事外にも水分補給に気をつけ、纖維質の多い食品を献立やおやつに取り入れている。朝の体操や、踊り、ホンにの趣味等で体を動かす機会を設け、便秘の予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の体調の変化を確認しながら入浴を行っている。本人の希望や好み、羞恥心や恐怖心に配慮しながら時間帯や順番は相談しながら対応している。行事浴（菖蒲湯やゆず湯）にも対応している。	入浴は週に2~3回を目安に午前中に行っている。その日の体調や気分もあり柔軟に対応している。天然温泉で足浴もできる。楽しんで入浴している。季節感を味わえる菖蒲湯・柚子湯にも対応して、個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	掃除や食事づくり、レクリエーション、散歩、外出等日中の活動を通して生活リズムを作り、安眠に繋げ個別に休憩を取り入れている。寝付けない人にはお茶を飲みながら本人の訴えを傾聴し安心して休んで頂くよう対応している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は個々の薬の目的を周知し、正しく服薬できるよう一人一人の薬剤情報提供用紙をファイリングしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴や趣味等を把握して本人が好きな事、できる事を支援し感謝の言葉を伝えるようにしている。楽しみながら自分らしく生活できるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ホームにこもりがちにならないように気分転換やストレス発散目的で散歩に出掛けたり、スタッフ同行でドライブや買い物支援を行っている。園外活動で戸外に出かける時にはご家族やボランティアにも声をかけ協力を得ている。	体調や天候に応じて広場で外気浴をしたり、カボチャの畑を見て楽しんでいる。年間計画で、花見・そうめん流し・おはら祭り等に出かけている。リフト車があり、家族の協力を得ながら、みんなで外出を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの入居者はご家族が金銭管理している。馴染みの美容室の支払いや買い物時には本人が自力で支払うことができるようサポートしている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族が遠方にいる入居者に対してはホーム便りや絵手紙、本人が書いた手紙などを郵送している。絵手紙を年賀状、暑中見舞いとして出したりとご家族との交流を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	食器を洗う音、料理の匂いなど生活を感じられるものや、季節季節の行事、また行事食を提供するなど心地よく過ごせるような生活空間づくりに努めている。	共用空間は広くて明るい。室温・湿度・採光が柔らかで開放感がある。空気清浄機や除菌・消臭剤のトラリスマストを設置し加湿器もある。台所は対面式である。畳のコーナがあり花が飾ってある。利用者の席に配慮している。ソファ、テレビもあり、家で過ごしているような家庭的な雰囲気で、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	玄関やホールにソファーを置き、そこでテレビを視聴したり、入居者同士が談笑するなど、寛げる空間づくりに努めている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	入居前にご本人が自宅で使用していた食器や生活用品などを持ち込んでもらい、設えは違えども、自宅での生活に近い環境で生活できるよう環境づくりに配慮している。	ベッド・エアコン・ロッカー・タンス・洗面台が設置している。家から持ち込まれた布団類・整理棚・食器・家族写真・位牌を置き、自宅で過ごせしているように設営し、居心地よく過ごせるように工夫している	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	ホール、トイレ、浴室、廊下等殆どの場所に手すりを設置し安全と自立への配慮をしている。本人の活動性を維持するために車いすなど個人の身体状況に合わせて取り入れている。		

## V アウトカム項目

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input checked="" type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		2 数日に 1 回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
			2 少しづつ増えている
		<input type="radio"/>	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の 2/3 くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の 1/3 くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の 2/3 くらいが
			3 利用者の 1/3 くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の 2/3 くらいが
			3 家族等の 1/3 くらいが
			4 ほとんどいない